



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社齒愛メディカル 上場取引所 東
 コード番号 3540 URL http://ci-medical.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 清人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 三好 誠治 TEL 076-278-8802
 定時株主総会開催予定日 2021年3月25日 配当支払開始予定日 2021年3月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	37,393	30.0	4,702	123.9	4,773	122.9	2,920	94.0
2019年12月期	28,763	11.5	2,100	9.6	2,141	8.5	1,505	13.2

(注) 包括利益 2020年12月期 2,962百万円 (95.0%) 2019年12月期 1,519百万円 (18.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	292.09	—	23.7	29.1	12.6
2019年12月期	150.56	—	14.7	16.6	7.3

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	18,897	13,754	72.8	1,375.49
2019年12月期	13,904	10,943	78.7	1,094.36

(参考) 自己資本 2020年12月期 13,754百万円 2019年12月期 10,943百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	4,159	△764	△150	5,680
2019年12月期	1,402	△254	△133	2,449

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	15.06	15.06	150	10.0	1.5
2020年12月期	—	0.00	—	58.42	58.42	584	20.0	4.7
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2020年12月期の期末配当の内訳は、普通配当29円21銭、創立20周年記念配当29円21銭であります。詳細は本日公表しました「剰余金の配当（創立20周年記念配当を含む）に関するお知らせをご覧ください。

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,105	7.3	4,748	1.0	4,785	0.2	3,000	2.7	30.00

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年12月期	10,000,000株	2019年12月期	10,000,000株
2020年12月期	73株	2019年12月期	49株
2020年12月期	9,999,945株	2019年12月期	9,999,988株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、経済活動が抑制されており、急速に減速しております。日本経済も、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、経済活動や個人消費の制限が続いており厳しい状況となっております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、前連結会計年度までは歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により先行きは不透明な状況となっております。

当社グループにつきましては主力の通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への参入拡大を進めると共に、動物病院等へも大型医療機器(デジタルレントゲン医療機器等)を販売し確実に実績を積み重ねております。2020年3月より幼稚園・保育園向け通販を開始し、新型コロナウイルス感染症の拡大による感染予防意識の高まりから、事業開始より登録顧客数は順調に増加しております。その他の事業につきましては、CAD/CAM歯科技工物製作事業、歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「Ci電たる」等においても経営成績は順調に推移いたしました。エネルギー関連サービス事業では、東京ガスの都市ガス供給エリア内にある歯科医院・技工所向けに、東京ガスの取次業者として都市ガス小売サービス「CiガスSupplied by 東京ガス」の供給を開始しております。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、当社においてはグローブ、手指消毒剤等の感染対策商品の注文並びにネット注文比率が急増したことで、第1四半期連結会計期間並びに第2四半期連結会計期間において、出荷作業並びに配送の遅延が発生しましたが、感染対策商品の需要拡大により当社の主力顧客である歯科医院を中心に売上高を押し上げるという結果をもたらしました。更には第4四半期連結会計期間におきましても、病院・一般診療所を中心に新規口座を開設されたお客様から、引き続きご注文を頂けたこと等も売上増加に寄与しております。各利益につきましても、売上高の増加並びに当社ロジスティックセンターの稼働が高水準を維持し続けたこと等から増益となりました。

また、厚生労働省による「新型コロナウイルス感染拡大防止等の支援事業(2020年4月1日から2021年3月31日までの感染予防対策費用が対象)」について、当社の主要なお取引先である歯科医院が対象となっていることも、通期業績に対して寄与したと考えております。

なお、今年に入ってから寒波や発電燃料不足を受けた卸電力価格の急騰による、新電力事業を取り巻く環境が不透明な状況を鑑み、当第4四半期連結会計期間におきまして非連結の新電力事業子会社3社(四つ葉電力株式会社、ワンレクトホールディングス株式会社及び新潟県民電力株式会社)の株式取得価額に相当する関係会社株式評価損(特別損失)1億75百万円を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は373億93百万円(前期比30.0%増)、営業利益47億2百万円(同123.9%増)、経常利益は47億73百万円(同122.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は29億20百万円(同94.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ46億37百万円増加(前期比41.3%増)し158億62百万円となりました。これは主として、現金及び預金が32億30百万円、受取手形及び売掛金が8億14百万円、前渡金が4億56百万円、商品及び製品が1億48百万円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円増加(同13.3%増)し30億35百万円となりました。これは主として、土地が32百万円、ソフトウェア仮勘定が2億83百万円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ21億77百万円増加(同85.2%増)し47億34百万円となりました。これは主として、未払法人税等が9億60百万円、支払手形及び買掛金が5億72百万円、未払消費税等3億63百万円、未払金が1億71百万円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加(同1.1%増)し4億8百万円となりました。これは、預り保証金が4百万円増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ28億11百万円増加(同25.7%増)し、137億54百万円となりました。これは剰余金の配当により1億50百万円減少したものの親会社株主に帰属する当期純利益29億20百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて32億30百万円増加し、56億80百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は41億59百万円(前期比196.6%増)となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益44億50百万円、その他の負債の増加6億45百万円、仕入債務の増加5億72百万円、減価償却費2億71百万円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加8億14百万円、法人税等の支払額7億8百万円、その他の資産の増加4億49百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は7億64百万円(同200.1%増)となりました。これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出4億58百万円、関係会社株式の取得による支出2億5百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億50百万円(同13.3%増)となりました。これは主として、配当金の支払いによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの主たる事業領域である歯科関連業界におきましては、歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られるものの、デジタル化の進展により市場環境は大きく変化しており、世界規模での企業間競争が激化するなど、厳しい事業環境が続いております。

歯科業界における通信販売マーケットについては、一般消耗品、特にPB製品を中心としたコストパフォーマンスの高い商品の購入増加による通販マーケットの拡大は続くものの、NB製品を主とした診療用材料・機器については卸業者との棲み分け(購入経路選択の成熟化)が進み、通信販売市場の増加率は緩やかになると見込まれます。

このような事業環境の中、当社グループにつきましては主力の通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への拡大を深め、動物病院、介護業界、理美容業界など参入を進めております。また、大型医療機器(レントゲン医療機器等)、電気、ホームページ等の販売を強化するため、引き続き国内主要都市での営業拠点の整備拡充、営業人員の増員ならびにメンテナンス等のアフターサービス体制の強化に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、通期業績見通しは、売上高401億5百万円(前期比7.3%増)、営業利益47億円48百万円(同1.0%増)、経常利益47億85百万円(同0.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益30億円(同2.7%増)を見込んでおります。

また、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、継続的な企業価値の向上を図るべく経営基盤の強化を進めていくと同時に、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。このため、剰余金の配当につきましては、中長期的な成長のため戦略的投資等に必要な内部留保の充実に留意しつつ、連結での1株当たり当期純利益の約10%を配当性向の目標として、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行なうことを基本方針としております。

② 当期の剰余金の配当

当期の剰余金の配当については、普通配当としての期末配当金は1株当たり29円21銭とさせていただき予定です。

また、当社は2020年1月5日をもちまして、創立20周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係者各位のご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。つきましては、株主の皆様への感謝の意を表するため、2020年12月期の期末配当において1株当たり29円21銭の記念配当を実施させていただき予定です。

これにより、2020年12月期の期末配当金は普通配当29円21銭に記念配当29円21銭を加え、1株当たり58円42銭の年間配当とさせていただき予定です。

③ 次期の剰余金の配当

次期の剰余金の配当については、①の利益配分に関する基本方針に基づいて、業績の進捗や事業環境等を勘案して決定する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,449,343	5,680,045
受取手形及び売掛金	1,802,949	2,617,151
商品及び製品	5,371,181	5,520,108
原材料及び貯蔵品	21,491	16,227
前渡金	423,825	879,934
未収入金	1,112,087	1,106,845
その他	49,773	49,434
貸倒引当金	△6,192	△7,733
流動資産合計	11,224,460	15,862,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	600,559	580,060
機械装置及び運搬具(純額)	371,049	322,221
土地	513,432	545,678
その他(純額)	98,475	98,865
有形固定資産合計	1,583,517	1,546,826
無形固定資産		
ソフトウェア	306,809	248,446
その他	152,675	438,305
無形固定資産合計	459,484	686,751
投資その他の資産		
投資有価証券	349,710	333,902
繰延税金資産	243,395	360,553
その他	44,763	108,222
貸倒引当金	△987	△442
投資その他の資産合計	636,881	802,236
固定資産合計	2,679,883	3,035,814
資産合計	13,904,344	18,897,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030,472	1,602,633
未払金	882,067	1,053,070
未払法人税等	383,054	1,343,377
賞与引当金	7,060	7,528
その他	254,184	728,042
流動負債合計	2,556,839	4,734,651
固定負債		
預り保証金	403,920	408,360
固定負債合計	403,920	408,360
負債合計	2,960,759	5,143,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	11,002,855	13,773,115
自己株式	△126	△341
株主資本合計	11,012,729	13,782,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△69,144	△27,956
その他の包括利益累計額合計	△69,144	△27,956
純資産合計	10,943,584	13,754,816
負債純資産合計	13,904,344	18,897,828

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	28,763,098	37,393,803
売上原価	21,009,940	26,099,928
売上総利益	7,753,158	11,293,874
販売費及び一般管理費	5,652,855	6,590,969
営業利益	2,100,302	4,702,905
営業外収益		
受取利息	30,428	25,847
補助金収入	6,434	20,745
リサイクル収入	5,460	6,026
賃貸収入	—	16,639
その他	10,360	11,605
営業外収益合計	52,683	80,863
営業外費用		
為替差損	10,447	8,898
貸倒損失	1,297	—
その他	20	1,096
営業外費用合計	11,765	9,994
経常利益	2,141,219	4,773,774
特別利益		
固定資産売却益	7,919	93
特別利益合計	7,919	93
特別損失		
投資有価証券評価損	—	56,928
投資有価証券償還損	—	89,785
関係会社株式評価損	—	175,849
その他	—	356
特別損失合計	—	322,921
税金等調整前当期純利益	2,149,139	4,450,946
法人税、住民税及び事業税	684,999	1,668,761
法人税等調整額	△41,458	△138,674
法人税等合計	643,540	1,530,087
当期純利益	1,505,598	2,920,859
親会社株主に帰属する当期純利益	1,505,598	2,920,859

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	1,505,598	2,920,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,494	41,187
その他の包括利益合計	13,494	41,187
包括利益	1,519,093	2,962,046
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,519,093	2,962,046

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	10,000	9,630,257	—	9,640,257	△82,638	△82,638	9,557,618
当期変動額							
剰余金の配当		△133,000		△133,000			△133,000
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,505,598		1,505,598			1,505,598
自己株式の取得			△126	△126			△126
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					13,494	13,494	13,494
当期変動額合計	—	1,372,598	△126	1,372,471	13,494	13,494	1,385,966
当期末残高	10,000	11,002,855	△126	11,012,729	△69,144	△69,144	10,943,584

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	10,000	11,002,855	△126	11,012,729	△69,144	△69,144	10,943,584
当期変動額							
剰余金の配当		△150,599		△150,599			△150,599
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,920,859		2,920,859			2,920,859
自己株式の取得			△215	△215			△215
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					41,187	41,187	41,187
当期変動額合計	—	2,770,259	△215	2,770,044	41,187	41,187	2,811,232
当期末残高	10,000	13,773,115	△341	13,782,773	△27,956	△27,956	13,754,816

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,149,139	4,450,946
減価償却費	288,429	271,821
賞与引当金の増減額(△は減少)	△169	468
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,794	995
受取利息及び受取配当金	△30,429	△25,848
為替差損益(△は益)	2,618	14,525
貸倒損失	1,297	—
固定資産除売却損益(△は益)	△7,919	263
投資有価証券評価損益(△は益)	—	56,928
投資有価証券償還損益(△は益)	—	89,785
関係会社株式評価損	—	175,849
売上債権の増減額(△は増加)	△190,611	△814,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△637,933	△143,662
その他の資産の増減額(△は増加)	△59,743	△449,403
仕入債務の増減額(△は減少)	71,487	572,161
その他の負債の増減額(△は減少)	316,931	645,631
小計	1,907,891	4,846,260
利息及び配当金の受取額	27,988	21,964
法人税等の支払額	△533,607	△708,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,402,273	4,159,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△259,673	△458,709
有形及び無形固定資産の売却による収入	20,730	102
投資有価証券の取得による支出	—	△145,925
投資有価証券の償還による収入	—	117,007
関係会社株式の取得による支出	△14,586	△205,478
長期貸付けによる支出	—	△70,982
その他	△1,048	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,578	△764,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△133,000	△150,599
自己株式の取得による支出	△126	△215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,126	△150,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,618	△14,243
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,011,949	3,230,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,437,394	2,449,343
現金及び現金同等物の期末残高	2,449,343	5,680,045

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品を扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、報告すべきセグメントは通信販売事業のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	1,094円36銭	1,375円49銭
1株当たり当期純利益	150円56銭	292円09銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,505,598	2,920,859
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,505,598	2,920,859
普通株式の期中平均株式数(株)	9,999,988	9,999,945

(重要な後発事象)

該当事項はありません。